

水道事業会計

営業

令和6年度の水道事業では、年間有収水量851万8228m³（前年度比1.14%増）を各家庭や企業に給水し、料金収入は、16億7592万4千円でした。

最大配水日は12月22日で、1日当たり2万7414m³（前年度比0.18%減）を配水しました。

建設改良

水道管の老朽化に伴う事故などを防止するため、「緑ヶ丘二・四丁目地内配水管改良工事」や「下大利・南ヶ丘線配水管改良工事」などを行いました。また、維持管理や将来的な更新費用を削減し、水道事業の効率化を図るため、「南部統合配水池整備工事」や「瓦田浄水場中央監視施設外改良工事」などを行いました。

業務量

事項	令和5年度	令和6年度	増減率
給水人口	10万1455人	10万1746人	0.29%
給水戸数	4万6297戸	4万6872戸	1.24%
人口普及率	98.67%	98.72%	-
年間総配水量	887万3266m ³	886万9095m ³	▲0.05%
1人1日 当たり配水量	239.0ℓ	238.8ℓ	▲0.08%
年間有収水量	842万2597m ³	851万8228m ³	1.14%
1日最大 配水量	2万7463m ³ (1月8日)	2万7414m ³ (12月22日)	▲0.18%
料金収入	16億5448万 8千円	16億7592万 4千円	1.30%

収支

区分	収入(A)	支出(B)	差引 (A-B)
収益的 収支	22億5123万 8千円	17億3066万 7千円	5億2057万 1千円
資本的 収支	6億1212万 7千円	13億5311万円	▲7億4098万 3千円

◇収益的収支とは、経営活動に伴い発生した当年度の水道・下水道事業の収支のことです。資本的収支とは、将来の経営活動に備えて行う建設改良事業などの収支を表しています。

◇収益的収支は税抜き、資本的収支は税込みの表示です。

◇資本的収支の不足分は、減価償却費などを賄う給水収益による現金(損益勘定留保資金)などで補てんしました。

◇損益計算書や貸借対照表などの財務諸表は、市ホームページに掲載しています。

●問い合わせ先 企業総務課 ☎(580)1933

下水道事業会計

営業

令和6年度の下水道事業では、922万1706m³（前年度比1.07%増）の下水道使用により、使用料収入は14億7544万2千円でした。

令和6年度末の整備済面積は1470ヘクタール（ha）となり（計画面積1532haに対して96.0%）、また、人口普及率は99.9%に達しています。

建設改良

汚水施設の老朽化に伴う事故などを防止するため、「牛頸西処理分区外污水管渠改築工事」や「大野東処理分区外污水管調査業務」などを行いました。また、浸水対策や施設規模の精査・検討のため、「大野城市雨水管理総合計画基本検討業務」などを行いました。

業務量

事項	令和5年度	令和6年度	増減率
整備済面積	1469ha	1470ha	0.07%
水洗化済人口	10万2589人	10万2852人	0.26%
水洗化戸数	4万6781戸	4万7356戸	1.23%
人口普及率	99.9%	99.9%	-
年間有収水量	912万3851m ³	922万1706m ³	1.07%
料金収入	12億512万 2千円	14億7544万 2千円	22.43%

※令和5年度に物価高騰支援策として、下水道使用料基本料金を免除（8カ月）し、令和6年度は免除しなかったため、料金収入が大幅に増となっています。

収支

区分	収入(A)	支出(B)	差引 (A-B)
収益的 収支	20億8796万 9千円	18億4083万 9千円	2億4713万円
資本的 収支	2億5727万 1千円	11億482万 5千円	▲8億4755万 4千円